



遠中だより

発行日：令和4年10月7日
発行：蔵王町立遠刈田中学校
【第12号】文責 佐藤

自主 敬愛 活力

～1学期での頑張りを自信に、更なる飛躍を！～

新年度がスタートし、早いもので6か月が過ぎ、本日1学期終業式を迎えることとなりました。今学期は、99日間（1年生は98日）の登校となりましたが、休日の部活動なども併せて、これまでの生活を通して子供たち一人一人が大いに成長できた学期であったと感じます。本日、学級担任から子供たち一人一人に声を掛けながら、通信票を手渡しいたしました。各教科の成績はもちろんですが、「学校から」の欄にはこれまでの子供たちの頑張りがや担任の願いなどが記入されていますので、ゆっくりと目を通していただき、ご家庭内でお子さんと1学期を振り返るきっかけとしていただければと思います。子供たちの頑張りをぜひ、褒めていただきながら、2学期からの学校生活に向けてお励みいただければと思います。これまで、保護者の皆様には本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。2学期からもどうぞよろしくお願いいたします。

第1学期終業式 学校長式辞

皆さん、今日で1学期の教育活動が終わります。

コロナ禍3年目を迎えた今年の1学期は、昨年に引き続き、感染症対策をとりつつも、通常の活動を再開し始めた学期となりました。部活動での対外試合の実施、伝統ある応援活動の復活を始め、3年「蔵王登山」、1年「野外活動」、2年「職場体験学習」も計画通り実施することができました。加えて3年生の「被災地体験学習」の実施等によって、多くの豊かな体験と学びを得ることができました。

何より、みなさんは「挑戦」する姿勢を数多く見せてくれました。中総体はもとより、地区陸上大会、水泳大会、駅伝予選会への参加、そして、少年の主張、英語暗唱大会、弁論大会、美術面での各種コンクールへの出品等、運動面、文化面共に、意欲ある取組の成果を試す場面がたくさんありました。それら自主的な取組を通して、目標に向かい努力し、汗を流す皆さんの姿を沢山見ることができ、大変うれしく思います。

生徒会役員選挙では、自ら立候補し、挑戦した2名の生徒、応援弁士を務め、堂々と発表した生徒、さらに、発表内容を考え、支えてくれた仲間もいたと聞いています。一人一人の勇気ある尊い挑戦の裏には、その挑戦を支え、励ましてくれる人たちがいることも忘れてはいけません。

2学期早々には、遠中祭が行われます。全校生徒全員が力を合わせて作り上げる最大の行事です。これまで流した汗の分だけ自信を持ってのびのびと発表し、「やり切った」と笑顔を輝かせる遠中祭にしてほしいと切に願っています。特に3年生のみなさんには、来たる受験に向けて、仲間との絆を深め、学級のまとまりを更に強くする機会にしてもらいたいと思います。

さて、今日は「プラス受信」について、話をしたいと思います。高校入試では面接があります。就職の時も、入社試験に面接があります。ある大手企業の社長は、面接で学生たちに「あななは、今までツイていましたか？」という質問をしたそうです。「ツイていた」とは「運がよかった」という意味です。こう質問し、その質問に「ツイていました」と答えた学生を採用したそうです。これはどうしてだと思いますか。実はこの質問は、「ある発想」ができる人間かどうか、それを見極めるためのものなのです。それが、「プラス受信」という発想です。「プラス受信」とは、あらゆる出来事をプラスに受け止める発想法です。世の中の出来事の多くは、嫌なことでも、受け止め方によってプラスに解釈することができます。例えば「先生に叱られた。」これは「おかげで成長できた。」、「学級でトラブルがおきた。」これは「学級がまとまるチャンスだ。」、「足を骨折した。」これは、「走れない分、上半身の筋トレがしっかりできる。」、「辛いことがあった。」これは「自分を成長させるチャンスだ。」・・・多くの出来事は、前向きに考えればチャンスとなり、後ろ向きに受け止めればピンチになります。つまり出来事を「どう受け止めるか」が大切なのです。

「プラス受信」の発想には、コツが2つあるそうです。一つ目は、「この出来事は、自分にとってためになることだ」と考えること。二つ目は「ピンチを楽しむこと。」ある大手企業が「人生ツイています」と答えた学生を採用した理由は、次のようなものでした。「プラス受信」ができる人は、「周囲に感謝ができる人」である。「ストレスに対しても強い人」である。「問題が起こっても前向きに解決しようとする人」である。実は、私も日頃から「プラス受信」を心掛けるようにしています。まだまだできていませんが、できるようになる努力をしています。皆さんも、辛いこと、嫌なこと、あるいは失敗があっても、それを「プラス受信」の発想で前向きに捉え、乗り越える力に変えてほしいと願っています。

明日から、4日間の秋休みです。この秋休みを利用して、まずは、この1学期を振り返って見てください。それぞれが取り組んだ「挑戦」を思い起こしてください。例え、成果が現れなかったとしても、挑んだ経験は、確実に皆さんの力になっています。「失敗は成功の父。」「成功者は、誰よりも数多くの失敗を経験している」と言います。1学期の取組とその結果を「プラス受信」で捉え直し、2学期の取組へのバネにしてほしいと思います。それでは、全校生徒のみなさん、この1学期、本当にお疲れ様でした。

今日の終業式では、1年 ST君、2年 TNさん、3年 OHさん、生徒会 IYさんが、生徒代表の言葉を述べました。しっかりと1学期を振り返り、2学期に向けて力強く抱負を述べていました。

また、終業式後、本日をもって離任するS先生の離任式がありました。生徒会を代表して、SRさんから感謝の言葉が、そしてAM君から花束が贈呈されました。これまで、ふたば学級担任、2年社会科担当、テニス部顧問、学校行事など多くの場面で、子供たちと積極的に関わり学校生活を支えてくれました。秋休み明けからは、白石市内の小学校でご勤務される予定です。ますます活躍されることを全校で応援したいと思います。ありがとうございました。なお、2学期からはこれまで育児休暇を取得しておりましたK先生がふたば学級担任として、復帰いたします。どうぞよろしくお願いいたします。



～9月29日（木）に令和4年度生徒会役員選挙立会演説会及び投票が行われました～

会長に当選したSRさん、副会長に当選したWJ君の力強い演説、そして、温かな応援演説をしてくれたSBさん、KK君。スムーズに選挙や演説会を進めてくれた遠刈田中学校選挙管理委員会の皆さん、ありがとうございました。そして、真剣に話を聞き、投票を行った全校生徒のみなさん大変立派でした。後期の生徒会へ向けていよいよ準備開始となります。

